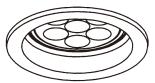
Panasonic

取扱説明書

保管用

施工説明付き



住宅用照明器具(LEDダウンライト)

品番 I GW716701F1 | I GW716711F1 | I GW716761F1 LGW71691LE1 LGW71696LE1

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。

安全 トのご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や 損害の程度を区分して、説明しています。

「死亡や重傷を負うおそれがある 内容」です。

「傷害を負うことや、財産の損害が 発生するおそれがある内容」です。 ■お守りいただく内容を、次の図記号で 説明しています。(下記は図記号の一例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店 または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

必ず守る

| 照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具 などの可燃物が近づかないように注意する

守らないと、照射物の変色、 火災のおそれがあります。



(ドア・家具・布などの可燃物)

照射物近接限度 10 cm

照射物

●アルカリ系洗剤は使用しない

あります。

禁止

分解禁止

強度低下により破損し、落下するおそれが あります。

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれが



●照明器具には寿命があります。 設置して 10 年経つと、外観に異常が なくても内部の劣化は進行しています。 点検・交換してください。

至る場合があります。 必ず守る

点検せずに長期間使い続けると まれに火災、感電、落下などに

- ◎1年に1回は別紙安全チェックシート に基づき自主点検してください。
- ●お手入れの際は電源を切る 通電状態で行うと、感電の原因となる ことがあります。
- ▶器具の取り外しは販売店、工事店に 依頼する

器具の取り外しには資格が必要です。

●温度の高くなるものを器具の真下に 置かない

火災の原因となることがあります。

- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- ●LEDを直視しない 目の痛みの原因となることがあります。



施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■器具の取り付けは、説明書にしたがい確実に行う ■交流 100 ボルトで使用する



取り付けに不備があると、火災・感電・ 落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

■指定の場所に取り付ける



守らないと、落下、器具の故障や絶縁不良による 火災・感電のおそれがあります。

必ず守る

- 壁面 床面
- 強度のない薄い天井面
- ロックウールなどのやわらかい天井面
- 傾斜した天井面



器具背面より雨の吹き込みや 水滴のかかる場所

- 振動のある場所
- ・ 業務用浴場サウナルームなど 高温多湿になる場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 天井内の湿度が高く結露の おそれのある場所
- ◎この器具は天井面埋め込み専用防湿防雨型です。 (天井外側のみ防水構造となっており、天井内側 から湿気や水気が浸入する場所には

取り付けないでください。)

内側 IP30

外側 IP43

◎石こうボード(9mm以上)に取り付けできます。

■特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には 使用しない



過熱して火災のおそれがあります。

日本照明工業会SB·SGI·SG形適合品 マット敷工法 ブローイング工法





■電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に 差し込む



差し込みが不完全な場合、火災・感電の おそれがあります。

必ず守る

■接地工事は、電気設備の技術基準に従って行う



接地工事が不完全な場合、 感電のおそれがあります。

アース線接続



過電圧を加えると過熱し、火災・感電の おそれがあります。

必ず守る

■照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具など の可燃物が近づかないように考慮して取り付

ける

照射物の変色・火災の おそれがあります。



必ず守る

(ドア・家具・布などの可燃物) / 照射物/

■屋内配線の電源・ケーブルなどは器具に接触 させない



火災のおそれがあります。

禁止

■取付面と本体パッキンのスキマおよび パッキン外周部にシール剤を塗る



本体パッキンと取付面とのすき間を 防水シール剤などで埋めてください。 防水が不完全な場合、火災・感電の 必ず守る おそれがあります。

■本体を埋込穴に確実に押し込む



押し込みが不完全な場合、ガタツキ、 器具落下のおそれがあります。

必ず守る

■電源線は付属の保護チューブで保護する



守らないと、火災のおそれがあります。

必ず守る

■付属の保護チューブを切断して使用しない



火災・感電のおそれがあります。

禁止

注意

■温度の高くなるものの上に取り付けない



禁止

ガス機器やその排気筒の上に 取り付けないでください。 火災の原因となることがあります。

■調光器と組み合わせて使用しない



調光機能付壁スイッチなどの調光器と組み合わ せて使用しないでください。 守らないと、火災の原因となることがあります。

禁止 ●調光器の取り外しが必要です。

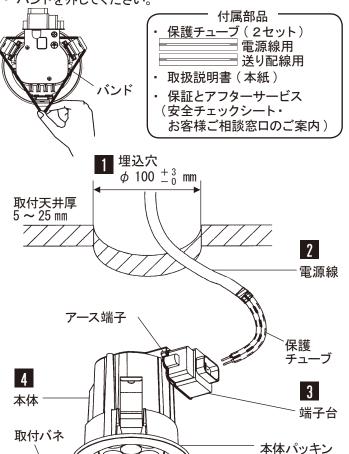


メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張り の木造の造営材に器具を取り付ける場合は、 器具の金属部と絶縁をとる

必ず守る 器具の本体等とメタルラス、ワイヤラス、金属板と が電気的に接触しないように取り付けてください。 守らないと、漏電した場合、火災・感電のおそれが あります。

取り付け前のご注意

- 付属部品を確認してください。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につき スイッチ3個まででご使用ください。 (4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチ を切にしても器具が消灯しないことがあります)
- バンドを外してください。



天井に埋込穴をあける

- 厚さ5~25 mmの天井に取り付ける。
- ϕ 100 $^{+3}_{-0}$ mmの埋込穴をあける。
- ※指定寸法でない場合、すき間があきます。 精度よく穴をあけるために、 ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

電源線に付属の保護チューブを 差し込む

- 送り総容量は4A以下です。
- ース端子よりD種(第3種)接地工事を行う。
- ①電源線に保護チューブが通るよう加工する。 ②保護チューブを必ず電源線に差し込む。



保護チューブ

適合電線 φ 1.6 φ 2.0 単線 VVFケーブル

③ VVF 外被と保護チューブの突き当て部は 絶縁テープを巻きつける。



保護チューブ



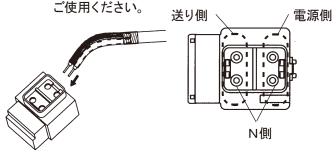
火災のおそれあり

送り総容量4A以下 必ず守る 照明器具専用

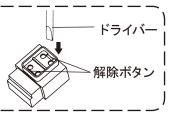
3 電源線を端子台に接続する

端子台に電源線を確実に差し込む。

・ 施工しにくい場合は保護チューブを裂いて

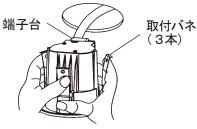


器具の取り替えなどで 電源線を外す場合は、 マイナスドライバーなど で解除ボタンを押しな がら電源線を引き抜く。



本体を埋込穴に入れる

取付バネ3本を押えながら、端子台側から 埋込穴に押し込む。



●石こうボードに取り付けた器具を取り外す場合は、 枠部をゆっくり引き下げて取付バネ(3本)を押し曲げ ながら取り外してください。取り外しに不備があると、 天井材破損の原因となることがあります。

取扱説明

使用上のご注意

- ・器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ・ LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- ・ LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヵ月に1回程度)に清掃してください。 汚れがひどい場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、 乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。 変色・破損・劣化の原因となります。

仕様

品番	使用電圧	品番	消費電力	入力電流	LED	配光	
LGW71670LE1					昼白色		
LGW71671LE1					毒性 力	拡散タイプ	
LGW71676LE1	AC100V	50/60Hz 共用	6.9W	0.12A	電球色		
LGW71691LE1						# 11 5 1 -	
LGW71696LE1					電球色	集光タイプ	

- ・ LED照明器具の光源寿命は、40,000 時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間の いずれか短い時間を推定したものです。
- 品番は器具のラベルをご参照ください。

便利メモ

おぼえのため、記入されると便利です。

お買い上げ日	年	月	B	品	番			
販 売 店 名	電話()	_	•

パナソニック株式会社 インテリア照明ビジネスユニット